

【岡山県倉敷市】少女漫画の「いがらしゆみこ美術館」開館25周年で体験型空間～Princess Park Kurashiki～へ進化。 グランドオープン「王妃の午後マリーのお茶会」開催決定！

マリーアントワネットと岡山の和を融合した「マリーのお茶会」を開催。
国際映画祭受賞の衣装デザイナー三城誠子がプロデュース。
岡山SABOEの茶葉で楽しむ少女漫画×和文化が融合した
「究極の非日常」を体験。

岡山県倉敷市の「いがらしゆみこ美術館」を運営する株式会社明日絵（代表：三城誠子）は、2026年に開館25周年を迎えます。これを機に、従来の展示型から、訪れる人が物語の主人公になれる体験型文化空間『Princess Park Kurashiki (PPK)』へとリニューアルいたします。現代社会で「母」「妻」「社会人」といった多忙な役割を担う大人の女性たちへ、ドレス体験や空間演出を通じ、本来の自分を取り戻す至福の時間を提供します。2026年3月24日には、国際的な衣装デザイン賞を受賞した三城誠子プロデュースによる、和洋折衷のアフタヌーンティーイベント「王妃の午後 マリーのお茶会」を開催。地元の銘茶やドレス体験が融合した、新たな倉敷観光の形を提案します。



Princess Park Kurashiki (PPK) とは

倉敷美観地区にある「いがらしゆみこ美術館」は、2000年の開館以来、少女漫画の世界観をテーマにした文化施設として多くの来館者を迎えてきました。

少女漫画は、日本のポップカルチャーの中でも、夢や憧れ、そして女性の生き方を描いてきた文化のひとつです。

しかし現代社会では、年齢や立場、役割などさまざまな“ラベル”の中で生きることが当たり前になり、大人の女性が自分自身の感性や夢を見つめ直す時間は、決して多くありません。

そこで開館25周年という節目に、これまでの「展示を中心とした美術館」という枠を少し広げ、訪れる人自身が物語の主人公として空間を体験できる新しいブランド **Princess Park Kurashiki**をスタートすることになりました。

倉敷美観地区の歴史ある街並みの中で、少女漫画が描いてきた夢の世界と、日本文化の美意識を融合させながら、大人の女性が日常の役割から少し離れ、本来の自分に還る時間を提供する場所を目指しています。

Princess Park Kurashiki (PPK) で体験できること

これまでの美術館が担ってきた「作品を鑑賞する場所」という役割に加え、訪れる人自身が物語の主人公となり、空間や文化体験を通して世界観の中に入り込む **参加型の文化空間** として進化します。

少女漫画が描いてきた夢や憧れの世界観と、倉敷美観地区の歴史的景観、日本文化の美意識を融合させながら、訪れる人が日常の役割やラベルから少し離れ、本来の自分の感性や美しさに出会う時間を提案します。

Princess Park Kurashikiは、単なる観光施設ではなく、**大人の女性が自分自身の物語を取り戻すための文化空間**として展開していきます。

Princess Park Kurashikiでは、少女漫画の世界観と日本文化を融合させた空間の中で、訪れる人が物語の主人公となるさまざまな体験を楽しむことができます。

- ・ いがらしゆみこ美術館（プリンセスパーク倉敷内）
- ・ プリンセス・シーン
- ・ カフェ・プリンセス
- ・ ショップ
- ・ プリンセス体験ホール
- ・ 着物ルーム
- ・ 江戸スタジオ
- ・ ミニシアター



大人のための特別プラン

Princess Park Kurashikiに併設した「カフェ・プリンセス」では、大人の女性のために特別プランが用意されています。

- ・ 還暦プラン
- ・ 「マリーアントワネット」プラン
- ・ 推し活プラン



グランドオープン記念イベント

王妃の午後 「マリーのお茶会」
クロアチア映画祭衣装デザイン賞受賞の
ブランドプロデューサー三城誠子が手がける特別企画。

詳しくは別紙チラシをご覧ください。

- ・ SABOE(岡山)石川康晴氏監修のお茶で楽しむ「和洋の饗宴」アフタヌーンティー
- ・ 原のり子氏演出の空間と、紅茶の講話
- ・ マリーからの特別ギフト (3,000円相当)
- ・ プリンセスドレス着用 (必須)
- ・ いがらしゆみこ美術館入館特典
- ・ プティ舞踏会 (簡単なステップ)
- ・ マリーのプティサロン(ミニお茶会・2階サロン)
- ・ ハートの雫プレートへの記念サイン
- ・ カメラマン撮影 (希望者様にデータ送付)

代表コメント

25年前、倉敷美観地区に「いがらしゆみこ美術館」を開館しました。

少女漫画の世界観をテーマにした美術館として多くのお客様に支えられ、今年、開館25周年を迎えることができました。

また昨年末には、映画「男神」の和衣装が「クロアチア映画祭」で衣装デザイン賞を受賞し、今年はその活動が朝日新聞やメディアでも紹介されるなど、新しい挑戦の流れも生まれています。

こうした節目を迎え、これまで多くのお客様に愛されてきたこの場所を、これからは“見る美術館”から“体験する美術館”へと進化させていきたいと考えています。

Princess Park Kurashikiは、大人の女性が日常の役割から少しだけ離れ、本来の自分に戻ることができる場所です。

ここでの体験が、訪れた方の人生を少しだけ輝かせる時間になれば嬉しくと思います。

プリンセスパーク倉敷 (いがらしゆみこ美術館)

所在地：岡山県倉敷市本町9-30 (倉敷美観地区)

営業時間：通常10時～17時

入館料：大人600円

TEL：086-426-1919

公式サイト：<https://princess-park.jp>



三城誠子note



お問い合わせ

株式会社明日絵 (ミツシロ)

TEL：086-425-3903

MAIL：info@yumiko.jp